第10回（平成30年度第5回）南箕輪村むらづくり委員会会議次第

平成30年11月8日（木）

午後7時～

南箕輪村役場2階講堂

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

① 答申の内容について 会議資料1

② 今後のスケジュールについて 会議資料2

③ その他

4. その他

次回会議日程 月 日（ ） 時から

5. 閉 会

答申書(案)

(南箕輪村創生総合戦略の検証)

南箕輪村むらづくり委員会

平成30年12月

平成 30 年 12 月 日

南箕輪村長 唐 木 一 直 様

南箕輪村むらづくり委員会
会 長 宮原 袈裟夫

南箕輪村創生総合戦略の検証に係る答申について

平成 29 年 6 月 5 日付け 29 地第 65 号で諮問されました「南箕輪村創生総合戦略の検証」について、以下のとおり答申いたします。

1. 検討の経緯と結果

平成 30 年 8 月 2 日から 4 回にわたりむらづくり委員会を開催し、「南箕輪村創生総合戦略」の検証を実施いたしました。検証の結果については、別添資料のとおりです。

南箕輪村創生総合戦略の検証結果

基本目標	施策・数値目標項目に対する検証判断結果(35項目)		基本目標に対する検証判断結果
(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり 【8項目】	順調	5項目	順調
	おおむね順調	3項目	
	努力を要する	0項目	
(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり 【10項目】	順調	8項目	順調
	おおむね順調	1項目	
	努力を要する	1項目	
(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり 【10項目】	順調	6項目	順調
	おおむね順調	3項目	
	努力を要する	1項目	
(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり 【7項目】	順調	6項目	順調
	おおむね順調	0項目	
	努力を要する	1項目	

施策・数値目標項目に対する検証判断結果 35 項目のうち、「おおむね順調」「努力を要する」とした数値目標項目は以下のとおりです。

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり

判断結果	数値目標項目名
おおむね順調	村・県制度資金申請件数
	効率的経営体が地域の農用地に占める面積のシェア
	就労に必要な学習会の開催数

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

判断結果	数値目標項目名
おおむね順調	経ヶ岳・権兵衛峠の登山者数
努力を要する	大芝高原の利用者数

(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
おおむね順調	出会いイベントの開催数
	わくわくクラブ会員数
	スポーツ施設利用者数
努力を要する	登下校見守りボランティア実施回数

(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	防災に関する出前講座の開催数

なお、以下のとおり委員会の意見を付しますので、計画を進めるにあたり配慮していただくようお願いいたします。

付帯意見

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり

【施策② 魅力的な農業経営の確立】

今後の農業に関する課題として、農地の保全、担い手の確保、大型農機具の活用が挙げられる。耕作放棄地の減少はすばらしい成果である一方、担い手不足の解消までには至っていない。今後も引き続き、農業者や農業団体と協力し、農地保全、農業経営の安定化に尽力されたい。

【施策③ 移住者や女性の就業支援】

若者の人材確保について、現在の売り手市場の中ではなかなか地元の中小企業に人が集まらないというのは理解できる。ただ、村が実施している若者やその親に対しての学習会や研修会が、地元企業への就労にどのくらいの効果があるのか懐疑的な見方もある。村としての事業への関わり方を今一度検討されたい。

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

【施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり】

「大芝高原の利用者数」について、実績値等確認した結果「努力を要する」と判断した。昨年度の検証の答申においても意見を付したとおり、この結果は、大芝の湯をはじめ大芝高原の施設運営に伴うマネジメントに課題があると考ええる。各施設の管理体制等を改善し、顧客サービスの向上に取り組まされたい。

また、大芝高原が道の駅として開駅し、今後県内外からの観光客も多くなると予想されるため、村や受託事業者はもちろんのこと、上伊那版 DMO として新たに設立された「(一社)長野県伊那谷観光局」とも連携し、大芝高原や経ヶ岳のより一層の魅力向上に努められたい。

(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

【施策① 妊娠出産・子育て支援の充実】

妊娠出産・子育て支援の充実に関する数値目標に対する実績値は順調という結果の中、「登下校見守りボランティア実施回数」については、実績値が南部小学校のみの数値ということもあり「努力を要する」と判断した。実際は南箕輪小学校においても、登下校時に交差点等で見守りをを行っているボランティアは存在しており、また、学校でも登下校時の見守り活動を、村交通安全対策協議会を通じて依頼するなど、活動は広まりつつある。学校や村が活動状況を把握できる体制を構築することが必要である。

また、防犯カメラの設置も見守りの一つの方法として検討されたい。

(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

【施策① 自然災害に強い地域づくり】

「防災に関する出前講座の開催数」について、実績値等確認した結果「努力を要する」と判断した。近年の自然災害は甚大になるケースが多く、また、東南海・南海トラフ沖地震もそう遠くない未来に発生する可能性も指摘されている。今後起こりうる自然災害に対しいかに減災できるか、住民一人ひとりの防災意識の一層の向上につながるよう村として努められたい。

【施策② 参画・協働の推進とコミュニティの育成】

「地域見守りたい員（仮称）等メール配信登録者数」について、水道メーターによる見守りは現在、検討段階である。本村においても高齢化社会は進んでおり、地域はもちろん遠方の親族も一体となって一人暮らしの高齢者等を見守る施策を推進されたい。

【施策③ 自然環境に育まれるむらづくり】

新学習指導要領（平成 29 年 3 月公示）により、カリキュラムが変更される中、自然学習の時間の確保は厳しい状況にあると考えられる。一方で ICT の発達に伴い、文字を書く機会が減り、最近では手紙を書けない子ども達が増えているとの指摘もある。自然学習と同様に文字に親しむ学習の時間確保に努められたい。

<全般>

各事業の目標設定に際し、プロセス・戦術目標のみならず、最終的な成果・結果目標についても、可能な限り設定することが望ましい。

平成 30 年度南箕輪村創生総合戦略の検証についてのむらづくり委員会開催の経過

開催日		内容
第7回	平成 30 年 8 月 2 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証の進め方について ○南箕輪村創生総合戦略の検証について
第8回	平成 30 年 9 月 6 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証について
第9回	平成 30 年 10 月 2 日	○南箕輪村創生総合戦略の検証について ○答申の内容について
第 10 回	平成 30 年 11 月 8 日	○答申の内容について ○今後のスケジュールについて

むらづくり委員名簿

会 長	宮 原 袈裟夫	久保区推薦
副会長	千 菊 夫	南殿区推薦
委 員	小板橋 紀 光	中込区推薦
委 員	穂 高 正 俊	塩ノ井区推薦
委 員	福 澤 豪	北殿区推薦
委 員	松 澤 純 一	田畑区推薦
委 員	原 文 明	神子柴区推薦
委 員	山 田 茂	沢尻区推薦
委 員	梶 村 隆 志	南原区推薦
委 員	横 道 正 博	大芝区推薦
委 員	原 孝 壽	大泉区推薦
委 員	足 立 芳 夫	北原区推薦
委 員	春 日 啓 子	村長指名
委 員	唐 澤 顕 匡	村長指名
委 員	唐 澤 喜 廣	村長指名
委 員	小 林 幸 代	村長指名
委 員	関 口 なおみ	村長指名
委 員	内 藤 良 昭	村長指名
委 員	中 川 博 夫	村長指名
委 員	平 嶋 菜 美	村長指名
委 員	三 澤 澄 子	村長指名
委 員	小 松 恒 輝	公募
専門委員	上 野 謙 二	日本郵便南箕輪郵便局
専門委員	唐 木 敏 秀	上伊那農業協同組合南箕輪支所
専門委員	伊 藤 裕 之	アルプス中央信用金庫南箕輪支店
専門委員	竹 内 智 彦	八十二銀行南箕輪支店
専門委員	小 松 和 雄	連合上伊那地域協議会
専門委員	伊 藤 秀 男	伊那ケーブルテレビジョン
専門委員	真 子 浩	不動産鑑定士

今後のスケジュールについて

平成30年（2018年）12月 南箕輪村創生総合戦略の検証に係る答申

平成31年（2019年）4月～ 南箕輪村創生総合戦略（交付金事業）の検証
南箕輪村第5次総合計画後期基本計画案の協議
南箕輪村第2期創生総合戦略案の協議